

科目名	化学英語	英語科目名	English for Chemistry
開講年度・学期	平成 25 年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 5 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	1 単位	単位種類	学修単位 (30+15)h
担当教員	武 成祥 亀山雅之 西井 圭	居室（もしくは所属）	電気物質棟 4 階 電気物質棟 4 階 電気物質棟 4 階
電話	0285-20-2809 0285-20-2801 0285-20-2806	E-mail	wuc @ oyama-ct. ac. jp kameyama @ oyama-ct. ac. jp k.nishii @ oyama-ct. ac. jp
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
1. 発音記号を見て英語の発音がわかること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
2. 英語のスペルを見て正しい発音ができること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
3. 可算名詞と不可算名詞が区別できること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
4. 品詞の区別ができ、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
5. 主語と述語が分かり、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
6. 自動詞、他動詞の区別がつき、日本語訳もそれに応じてできること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
7. 現在、過去、未来のテンスの違いが理解でき、それに合わせた日本語訳ができること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
8. 関係代名詞が表す内容を具体的にすることができ、それを日本語訳の中で論理的に表現できること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
9. 化学英語 300 語を覚えること。	⑥	D-1, E-1	a, b, d-2, f, g
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. クラスを 3 グループに分けて習熟度別授業を行う。 2. クラス分試験の成績により、グループメンバーの入れ替えを行う。 3. 達成目標 1～5 に対しては中間、期末試験の関連問題および課題の 60%以上の成績で達成とする。 4. 達成目標 6～9 に対しては期末試験の関連問題および課題の 60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
課題と小テスト、クラス分試験（中間試験を含む）、および期末試験の成績により総合的に評価する。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
Aグループ：34 (Catalyst)～57 (Application of natural radioactivity)、担当：武 成祥	構文の解釈、訳文の作成、小テストのための学習		15
Bグループ：34 (Catalyst)～47 (Cement and concrete)、担当：亀山雅之	構文の解釈、訳文の作成、小テストのための学習		15
Cグループ：テキスト番号 13 (Atoms)～36 (Artificial radioactive atoms) 担当：西井 圭	構文の解釈、訳文の作成、小テストのための学習		15
各グループ自学自習時間数			15
キーワード	化学英語、発音記号、品詞、主語、述語、構文解釈		
教科書	やさしい化学英語、オーム社、2003		
参考書	1. エssenシャル化学辞典、東京化学同人、1999 2. 化学英語の活用辞典、化学同人、1999		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	英語 I・II・III、英語ライティング A・B、英会話、英語表現 I・II・III		
現学年の関連科目	卒業研究		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
<ul style="list-style-type: none"> 原則として 3 週毎にクラス分試験を行います。毎日しっかり勉強しましょう。 専門英語の読解力、和訳、英訳、そして、聞くと話す力もこの講義で身につけましょう。 積極的に楽しく授業参加しましょう。集中力を高め、レベルアップを目指しましょう。 			
シラバス作成年月日	平成 25 年 3 月 18 日		